

事業計画書

事業名	認知症を吹き飛ばせ！ 健康寿命を延ばそう事業
団体名	しゃぼん玉倶楽部

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>①認知症の方を介護する家族は計り知れない程の辛さと行き場のない不安感に包まれている。そのような行き詰った実態を少しでも解消できるように敷居の低い、開かれた会を作る必要がある。</p> <p>②介護保険改正により軽度の介護状態の方の受け入れ先がなくなることを踏まえ、地域包括ケアシステムの一部として市民自身による市民のための介護予防が必要となる。</p>
事業の目的	介護保険料増大を少しでも防ぐために早いうちから市民自身が積極的に介護予防・認知症予防に取り組み健康寿命を延ばすこと。また認知症への正しい知識を持ち地域ぐるみで活動することにより認知症の方への見守り・支え合いの輪を広げていけるようにすること。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① <u>認知症啓発講演会の開催</u> (年2回松戸市内にて開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係の専門家を招いての講演会の開催。 ・介護経験のある家族の生の声や体験談を聞きながらの勉強会の開催。 ・「認知症を正しく理解しよう」のリーフレットを作成し講演会・勉強会終了後も企業や店舗、町会などに配布して啓発活動としても使用する。 ・単発で終わることのないよう会員制度を設け、希望する方には定期的な勉強会を開催して参加してもらう。(上記のリーフレットを使用する) <p>② <u>介護予防教室の開催</u> (あったらいいな！理想の出張型介護予防教室の開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 : 介護保険を申請、または申請しているが利用していない方。 : 大人数の場所へ参加するのが苦手な方 : 男性または女性限定で行いたい方 : 親しい友人、夫婦だけで利用したい方 : 町内会、老人会などで開催したい方 ・具体的内容: 人前で話してみよう、リアリティオリエンテーション、体力測定および評価、学習療法士による学習脳トレ、音楽に合わせての体操、身近な道具を利用した体操、脳トレクレーション、オリジナル計算カード、参加者の趣味・特技を生かしたアート教室など。 <p>いずれの事業も通常の告知では届かないような方々に出来るだけ参加してもらえるように、地域包括支援センター、町会長、民生委員などと連携を取りながら勧誘し参加してもらえるように工夫する。</p>

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	・講演会準備(チラシ作製)	六実、六高台周辺の一般高齢者向け
5月	・講演会準備(チラシ配布)	六実、五香、六高台、他近隣地域
6月	・講演会(医療関係者) ・体力測定会 ・出張型予防教室	六実市民センター他
7月	・出張型予防教室	六実市民センター他
8月	・出張型予防教室	六実市民センター他
9月	・勉強会(介護経験家族) ・出張型予防教室	六実市民センター他
10月	・出張型予防教室	六実市民センター他
11月	・出張型予防教室	六実市民センター他
12月	・出張型予防教室	六実市民センター他
1月	・出張型予防教室	六実市民センター他
2月	・体力測定会 (8ヶ月後評価) ・出張型予防教室	六実市民センター他
3月	・出張型予防教室	六実市民センター他

出張型の会場は利用者の希望により決定する。(市民センター、町会会館、自宅など)

事業の目標

- ①認知症講演会及び勉強会(年2回)
医療関係者による講演会・・・(50人/回)
介護経験家族による勉強会・・・(15人/回)
- ②出張型介護予防教室(30件程度/年)

今後の展望

次年度は五香・六実・六高台地区以外で展開し、徐々に広げてゆき将来的には松戸市全域で開催出来るようになることを目指していき、千葉県における高齢者の健康寿命を男女とも全国1位となるように松戸市が率先して見本になるよう貢献していきたい。

また、出張型予防教室で定着してきた方達で少人数のグループ単位での交流の機会をもつように提案する。市民センターなどで自主グループ化に移行して各自で継続して活動してもらえる様サポートしていく。

(孤独死などの防止、他者との交流による活性化などを目指す)

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
	事業収入	¥ 60,000	出張型教室参加料 @2000/回 30回/年
	自己資金の合計額 (A)	¥ 60,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 160,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 68,000	外部講師謝礼 医師、32000円介護経験家族12000円、介護予防協会等24000円
	食糧費	¥ 4,000	講師昼食代 500円×8人
	印刷製本費	¥ 10,000	広報チラシの印刷代 10円×1,000部
		¥ 30,000	パンフレットの印刷代 30円×1,000部
	消耗品費	¥ 19,340	チラシ、ポスター用紙、脳トレ教材 2円×3,000枚 50円×20枚 ドリル計算*1,000円×4 音読*1,000円×4 脳トレワーク*700×5 色鉛筆420×2
	使用料	¥ 5,160	会場使用料 講演会700円/時間×3 測定会・勉強会340円×9時間
	通信費	¥ 8,500	封筒、切手代 切手82円×100人、封筒100枚300円
	対象経費の合計 (D)	¥ 145,000	
その他経費	交通費	¥ 15,000	出張型教室交通費 500円(往復)×30件
	その他経費の合計 (E)	¥ 15,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 160,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。